

線区別の収支とご利用状況について

I. 平成30年度

II. 令和元年度第1四半期

令和元年9月4日



1

I. 平成30年度について

2

1 平成30年度のポイント ①

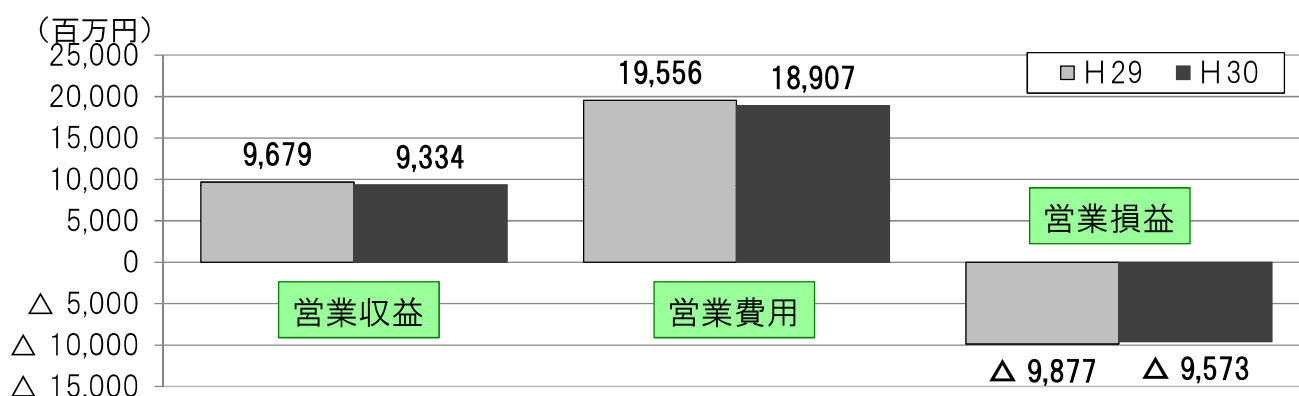
- 台風21号や北海道胆振東部地震により、新幹線では3億円規模で営業収益が減少したほか、多くの線区で影響を受けました。
- そうした中でも、地域の皆様と観光誘客や利用促進等に取り組んだ結果、[10] 釧網線（東釧路～網走）では定期外のご利用が増加し、また[11] 日高線（苫小牧～鷗川）では通学のご利用が増加したこと等により、一部の線区では営業収益が増加しました。
- [4] 石勝線（新夕張～夕張）では平成31年4月1日の鉄道事業廃止を前にしてご利用が増加したことにより営業収益が増加しました。
- 多くの線区で除雪費と減価償却費が減少したことから、営業費用が減少し、営業損益が改善しました。

3

1 平成30年度のポイント ②

○ [22] 新幹線（新青森～新函館北斗）の営業損益が改善

- ▶ 営業収益は、北海道胆振東部地震の影響で運輸収入が減少したこと等により、344百万円減少。
- ▶ 営業費用は、H5系車両の減価償却費や、電気設備の修繕（ケーブル支持金具の取り替え等）、除雪費の減等により、648百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損益は304百万円改善。

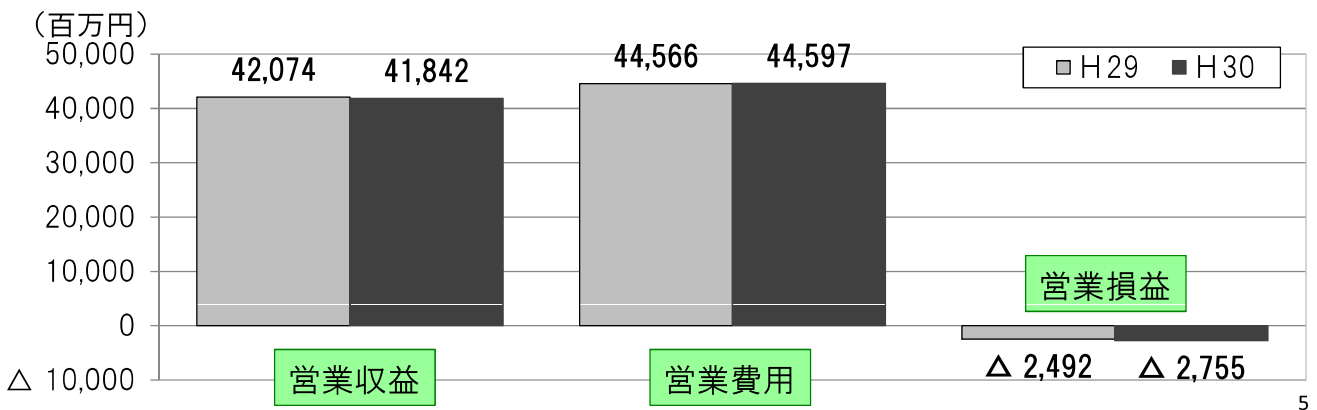


4

1 平成30年度のポイント ③

○ [19] 札幌圏（4線区）の営業損失が拡大

- ▶ 営業収益は、北海道胆振東部地震の影響で運輸収入が減少したこと等により、232百万円減少。
- ▶ 営業費用は、車両の減価償却費が減少した一方、千歳線や札沼線の高架橋の修繕が増加したこと等により、31百万円増加。
- ▶ 以上により、営業損失は263百万円拡大。

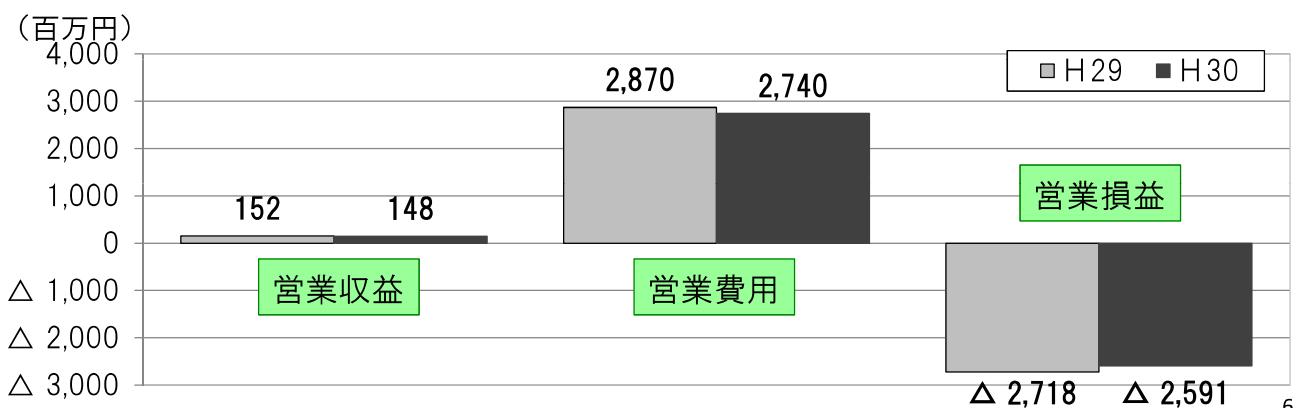


5

1 平成30年度のポイント ④

○ [1～5] 赤・茶線区全体の営業損益が改善

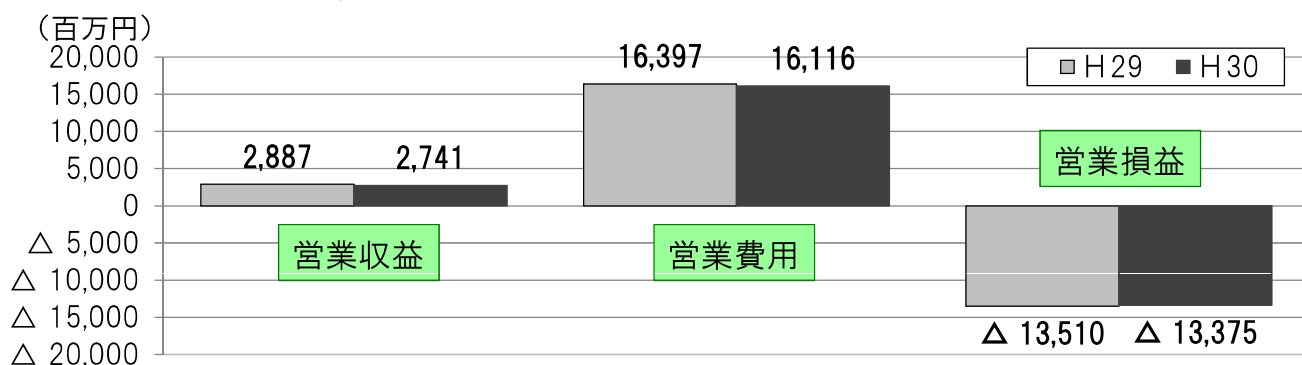
- ▶ 営業収益は、[4] 石勝線（新夕張～夕張）の運輸収入が平成31年4月1日の鉄道事業廃止を前に増加した一方、[5] 日高線（鷗川～様似）の運輸収入が減少したこと等により、4百万円減少。
- ▶ 営業費用は、[3] 留萌線（深川～留萌）において除雪費が減少したことや、平成29年度に[5] 日高線（鷗川～様似）において護岸壁倒壊箇所への土砂流出対策工事を実施していたこと等により、131百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損益は127百万円改善。



6

○ [6～14] 黄線区全体の営業損益が改善

- ▶ 営業収益は、[10] 釧網線（東釧路～網走）と[11] 日高線（苫小牧～鷗川）においてご利用が増えた一方、[12・13] 石北線（新旭川～上川、上川～網走）をはじめとした特急列車走行線区を中心に、北海道胆振東部地震の影響で運輸収入が減少したこと等により、147百万円減少。
- ▶ 営業費用は、[6] 宗谷線（名寄～稚内）や[8] 根室線（滝川～富良野）をはじめとした多くの線区において除雪費が減少したこと等により、282百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損益は135百万円改善。



7

2 その他増減の大きい線区

○ [21] 根室線（帯広～釧路）の営業損益が改善

- ▶ 営業収益は、北海道胆振東部地震の影響で運輸収入が減少したこと等により、50百万円減少。
- ▶ 営業費用は、これまで実施してきたマクラギをコンクリート製に交換する工事（設備投資）が概ね完了し、それに併せて行う軌道整備（バラストのつき固め等）が減少したこと等により、398百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損益は347百万円改善。

○ [24] 函館線（函館～長万部）の営業損失が拡大

- ▶ 営業収益は、北海道胆振東部地震の影響で運輸収入が減少したこと等により、229百万円減少。
- ▶ 営業費用は、軌道の集中的な修繕を実施し、レール交換が増加したこと等により、156百万円増加。
- ▶ 以上により、営業損失は385百万円拡大。

別紙 1 のとおり

9

II. 令和元年度第 1 四半期について

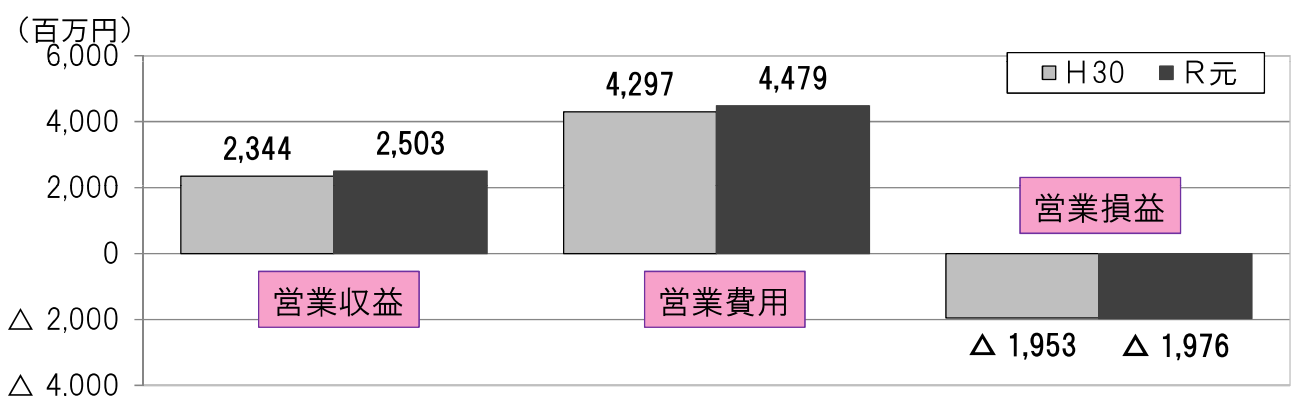
1 令和元年度第1四半期のポイント ①

- 北海道新幹線の開業3周年キャンペーンを実施したことや、ゴールデンウィーク10連休効果が重なったことで、道南方面や札幌圏のご利用が増えたことにより、営業収益が増加しました。
- アクションプランの取り組みが始まり、[10] 日高線（苫小牧～鷗川）では、沿線の高校の通学手段をバスから鉄道へと切り替えていただき、ご利用が増加したことから、営業収益が増加しました。[9] 釧網線（東釧路～網走）や[6] 根室線（釧路～根室）でもご利用が増加したことから、営業収益が増加しました。
- 多くの線区で冬期の少雪等により、修繕工事に例年より早く着手・完成できたことから修繕費が増加し、営業費用が増加しました。

11

1 令和元年度第1四半期のポイント ②

- [21] 新幹線（新青森～新函館北斗）の営業損益は前年度並み
 - ▶ 営業収益は、開業3周年キャンペーンを実施した効果やゴールデンウィークが10連休となった影響で運輸収入が増加したこと等により、158百万円増加。
 - ▶ 営業費用は、今年度から列車を運休させて作業時間を拡大した日を設定し、在来線との共用走行区間においてレールや電車線の交換を実施したこと等により、181百万円増加。
 - ▶ 以上により、営業損失は23百万円拡大。

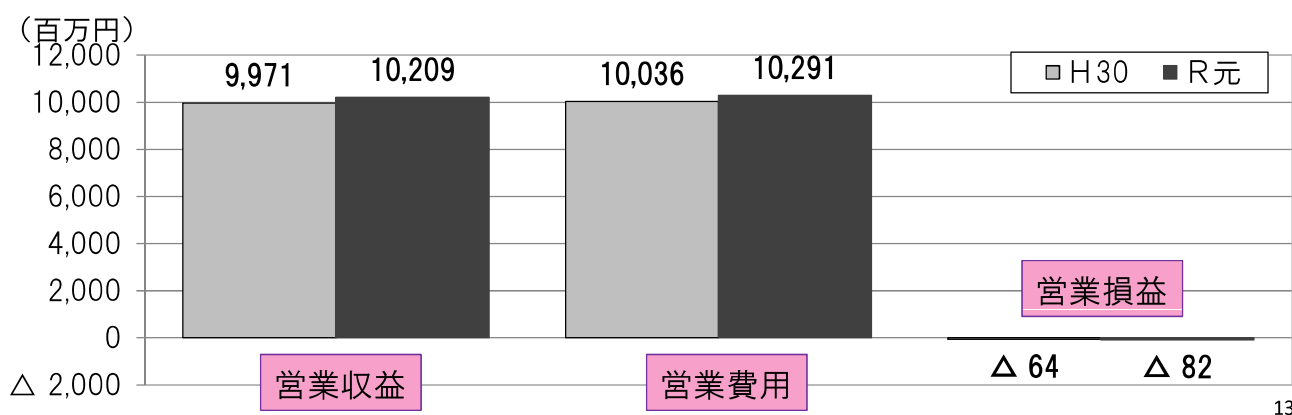


12

1 令和元年度第1四半期のポイント ③

○ [18] 札幌圏（4線区）の営業損益は前年度並み

- ▶ 営業収益は、ゴールデンウィークが10連休となった影響で運輸収入が増加したこと等により、238百万円増加。
- ▶ 営業費用は、電気関係の業務支援システムを置き換えたことや、平成30年11月17日に開業した苗穂駅新駅舎の不動産取得税を納付したこと等により、255百万円増加。
- ▶ 以上により、営業損失は17百万円拡大。



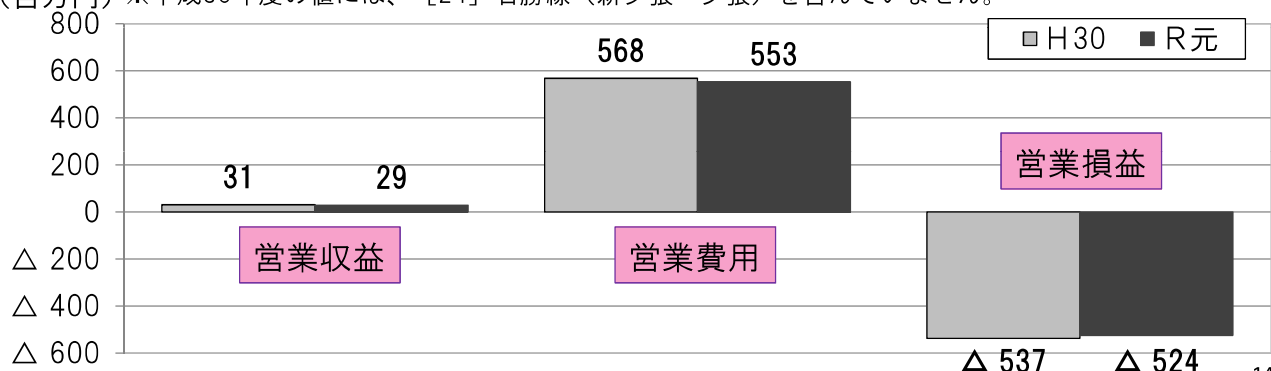
13

1 令和元年度第1四半期のポイント ④

○ [1～4] 赤・茶線区全体の営業損益が改善

- ▶ 営業収益は、[1] 札沼線（北海道医療大学～新十津川）の運輸収入が令和2年5月7日の鉄道事業廃止を前に増加した一方、[4] 日高線（鷗川～様似）の運輸収入が減少したこと等により、2百万円減少。
- ▶ 営業費用は、令和2年5月7日廃止予定の[1] 札沼線（北海道医療大学～新十津川）における財産を平成30年度末決算（平成31年3月）で減損処理し、減価償却費が減少したこと等により、14百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損益は13百万円改善。

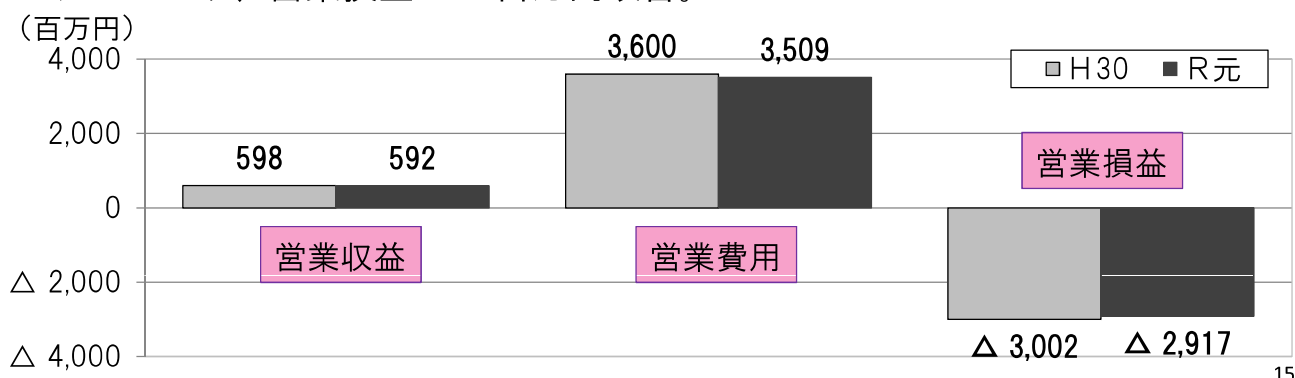
（百万円）※平成30年度の値には、[24] 石勝線（新夕張～夕張）を含んでいません。



14

○ [5～13] 黄線区全体の営業損益が改善

- ▶ 営業収益は、[6] 根室線（釧路～根室）と[9] 釧網線（東釧路～網走）、[10] 日高線（苫小牧～鷗川）においてご利用が増加した一方、[12] 石北線（上川～網走）をはじめとした複数の線区において運輸収入が減少したこと等により、5百万円減少。
- ▶ 営業費用は、[8] 室蘭線（沼ノ端～岩見沢）において橋梁の修繕が減少したことや、[11・12] 石北線（新旭川～上川、上川～網走）において平成30年度に特急列車を増結していたこと等により、91百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損益は85百万円改善。



2 その他増減の大きい線区

○ [14] 石勝・根室線（南千歳～帯広）の営業損失が拡大

- ▶ 営業収益は、運輸収入が減少したこと等により、2百万円減少。
- ▶ 営業費用は、軌道整備（バラストのつき固め等）が増加したこと等により、126百万円増加。
- ▶ 以上により、営業損失は129百万円拡大。

○ [16] 室蘭線（室蘭～苫小牧）の営業損益が改善

- ▶ 営業収益は、ゴールデンウィークが10連休となった影響で運輸収入が増加したこと等により、15百万円増加。
- ▶ 営業費用は、電気設備の修繕（碍子や配電線の取り替え等）が減少したこと等により、43百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損益は58百万円改善。

別紙2のとおり

平成30年度 線区別の収支とご利用状況（対平成29年度）

線名・区間			収支（百万円）									輸送密度 （人／日）		
			営業収益 （A）			営業費用 （B）			営業損益 （A）－（B）					
			H29年	H30年	増減	H29年	H30年	増減	H29年	H30年	増減			
1	札沼線	医療大学～新十津川	15	16	1	329	297	△ 32	△ 314	△ 281	33	57	62	5
2	根室線	富良野～新得	31	34	3	735	768	32	△ 705	△ 734	△ 29	92	94	2
3	留萌線	深川～留萌	39	38	△ 2	772	678	△ 94	△ 732	△ 640	92	157	145	△ 12
4	石勝線	新夕張～夕張	10	18	8	218	215	△ 2	△ 207	△ 197	10	69	146	77
5	日高線	鷗川～様似	57	43	△ 14	817	782	△ 36	△ 760	△ 739	21	119	119	0
1～5計			152	148	△ 4	2,870	2,740	△ 131	△ 2,718	△ 2,591	127			
6	宗谷線	名寄～稚内	436	411	△ 25	3,169	3,033	△ 136	△ 2,733	△ 2,622	111	352	335	△ 17
7	根室線	釧路～根室	163	164	1	1,272	1,279	6	△ 1,110	△ 1,115	△ 5	264	250	△ 14
8	根室線	滝川～富良野	138	144	6	1,408	1,250	△ 158	△ 1,270	△ 1,106	163	428	419	△ 9
9	室蘭線	沼ノ端～岩見沢	123	117	△ 6	1,357	1,346	△ 11	△ 1,233	△ 1,228	5	439	412	△ 27
10	釧網線	東釧路～網走	286	288	2	1,783	1,736	△ 47	△ 1,497	△ 1,448	49	374	380	6
11	日高線	苫小牧～鷗川	27	39	13	453	408	△ 45	△ 426	△ 368	58	449	462	13
12	石北線	新旭川～上川	317	288	△ 29	1,299	1,247	△ 52	△ 982	△ 959	23	1,188	1,117	△ 71
13	石北線	上川～網走	996	916	△ 81	4,258	4,378	121	△ 3,261	△ 3,463	△ 201	821	779	△ 42
14	富良野線	富良野～旭川	401	373	△ 27	1,399	1,439	41	△ 998	△ 1,066	△ 68	1,597	1,505	△ 92
6～14計			2,887	2,741	△ 147	16,397	16,116	△ 282	△ 13,510	△ 13,375	135			
1～14計			3,040	2,889	△ 151	19,268	18,855	△ 413	△ 16,228	△ 15,966	262			
15	石勝・根室線	南千歳～帯広	5,587	5,408	△ 178	8,897	8,796	△ 101	△ 3,310	△ 3,388	△ 78	3,567	3,529	△ 38
16	室蘭線	長万部～東室蘭	3,016	2,931	△ 85	4,615	4,575	△ 40	△ 1,599	△ 1,645	△ 46	4,858	4,804	△ 54
17	室蘭線	室蘭～苫小牧	3,428	3,342	△ 86	5,799	5,816	17	△ 2,371	△ 2,474	△ 103	6,850	6,764	△ 86
18	函館線	岩見沢～旭川	5,716	5,379	△ 337	9,262	8,993	△ 269	△ 3,547	△ 3,615	△ 68	8,660	8,237	△ 423
19	札沼線	桑園～医療大学	42,074	41,842	△ 232	44,566	44,597	31	△ 2,492	△ 2,755	△ 263	17,862	17,957	95
	函館線	札幌～岩見沢										43,575	42,926	△ 649
	千歳・室蘭線	白石～苫小牧										46,076	46,416	340
	函館線	小樽～札幌										46,793	47,039	246
20	宗谷線	旭川～名寄	666	632	△ 34	3,497	3,330	△ 167	△ 2,831	△ 2,698	133	1,452	1,393	△ 59
21	根室線	帯広～釧路	1,656	1,605	△ 50	5,898	5,500	△ 398	△ 4,242	△ 3,895	347	1,587	1,557	△ 30
22	新幹線	新青森～新函館北斗	9,679	9,334	△ 344	19,556	18,907	△ 648	△ 9,877	△ 9,573	304	4,510	4,899	389
15～22計			71,820	70,473	△ 1,347	102,089	100,516	△ 1,573	△ 30,269	△ 30,043	226			
23	函館線	長万部～小樽	444	430	△ 13	2,864	2,791	△ 73	△ 2,420	△ 2,360	60	652	625	△ 27
24	函館線	函館～長万部	4,717	4,488	△ 229	10,934	11,090	156	△ 6,217	△ 6,602	△ 385	3,712	3,650	△ 62
23～24計			5,160	4,918	△ 242	13,797	13,880	83	△ 8,637	△ 8,962	△ 326			
合計			80,020	78,280	△ 1,740	135,154	133,252	△ 1,902	△ 55,134	△ 54,971	163	5,122	5,108	△ 14

(注)1. 輸送密度とは、旅客営業キロ1km当たりの1日平均旅客輸送人員をいいます（線区輸送人キロ÷営業キロ÷日数）。

2. 合計の輸送密度には、バス代行を継続的に実施している区間のある日高線（鷗川～様似）と根室線（富良野～新得）の実績を含まずに算出しています。

平成30年度 線区別の収支とご利用状況

線 名・区 間			営 業 キ ロ (km)	輸 送 密 度 (人/日)	収 支 (百万円)						営業係数(円)	
					営 業 収 益 (A)	営業費用			営業損益		管理費 除 く (B)/(A)	管理費 含 む (D)/(A)
						鉄道計 (B)	管理費 (C)	営 業 費 用 (D)=(B)+(C)	管理費 除 く (A)-(B)	管理費 含 む (A)-(D)		
1	札 沼 線	医療大学～新十津川	47.6	62	16	264	33	297	△ 248	△ 281	1,603	1,803
2	根 室 線	富良野～新 得	81.7	94	34	591	176	768	△ 558	△ 734	1,764	2,289
3	留 萌 線	深 川～留 萌	50.1	145	38	591	87	678	△ 553	△ 640	1,570	1,801
4	石 勝 線	新夕張～夕 張	16.1	146	18	189	27	215	△ 171	△ 197	1,048	1,196
5	日 高 線	鶴 川～様 似	116.0	119	43	287	494	782	△ 245	△ 739	675	1,836
1～5 計			311.5		148	1,922	817	2,740	△ 1,774	△ 2,591	1,297	1,848
6	宗 谷 線	名 寄～稚 内	183.2	335	411	2,666	368	3,033	△ 2,255	△ 2,622	649	738
7	根 室 線	釧 路～根 室	135.4	250	164	1,109	170	1,279	△ 945	△ 1,115	678	781
8	根 室 線	滝 川～富良野	54.6	419	144	1,100	151	1,250	△ 956	△ 1,106	764	869
9	室 蘭 線	沼ノ端～岩見沢	67.0	412	117	1,193	153	1,346	△ 1,075	△ 1,228	1,015	1,146
10	釧 網 線	東 釧 路～網 走	166.2	380	288	1,521	215	1,736	△ 1,233	△ 1,448	528	603
11	日 高 線	苫 小 牧～鶴 川	30.5	462	39	369	39	408	△ 329	△ 368	935	1,033
12	石 北 線	新 旭 川～上 川	44.9	1,117	288	1,101	146	1,247	△ 812	△ 959	382	432
13	石 北 線	上 川～網 走	189.1	779	916	3,847	531	4,378	△ 2,931	△ 3,463	420	478
14	富良野線	富良野～旭 川	54.8	1,505	373	1,257	182	1,439	△ 884	△ 1,066	337	385
6～14 計			925.7		2,741	14,162	1,954	16,116	△ 11,421	△ 13,375	517	588
1～14 計			1,237.2		2,889	16,084	2,771	18,855	△ 13,195	△ 15,966	557	653
15	石勝・根室線	南千歳～帯 広	176.2	3,529	5,408	7,747	1,049	8,796	△ 2,339	△ 3,388	143	163
16	室 蘭 線	長 万 部～東 室 蘭	77.2	4,804	2,931	4,075	500	4,575	△ 1,145	△ 1,645	139	156
17	室 蘭 線	室 蘭～苫 小 牧	65.0	6,764	3,342	5,157	659	5,816	△ 1,815	△ 2,474	154	174
18	函 館 線	岩 見 沢～旭 川	96.2	8,237	5,379	7,957	1,036	8,993	△ 2,579	△ 3,615	148	167
19	札 沼 線	桑 園～医療大学	28.9	17,957	41,842	39,163	5,435	44,597	2,679	△ 2,755	94	107
	函 館 線	札 幌～岩見沢	40.6	42,926								
	千歳・室蘭線	白 石～苫 小 牧	68.0	46,416								
	函 館 線	小 樽～札 幌	33.8	47,039								
20	宗 谷 線	旭 川～名 寄	76.2	1,393	632	2,900	430	3,330	△ 2,268	△ 2,698	459	527
21	根 室 線	帯 広～釧 路	128.3	1,557	1,605	4,802	698	5,500	△ 3,196	△ 3,895	299	343
22	新 幹 線	新 青 森～新函館北斗	148.8	4,899	9,334	15,978	2,929	18,907	△ 6,644	△ 9,573	171	203
15～22 計			939.2		70,473	87,780	12,736	100,516	△ 17,307	△ 30,043	125	143
23	函 館 線	長 万 部～小 樽	140.2	625	430	2,461	330	2,791	△ 2,030	△ 2,360	572	649
24	函 館 線	函 館～長 万 部	147.6	3,650	4,488	9,743	1,347	11,090	△ 5,255	△ 6,602	217	247
23～24 計			287.8		4,918	12,204	1,677	13,880	△ 7,285	△ 8,962	248	282
合 計			2,464.2	5,108	78,280	116,068	17,184	133,252	△ 37,788	△ 54,971	148	170

※ 合計には、出向社員給与などを含まないため、鉄道事業計とは一致しません。

鉄 道 事 業 計	2,464.2	—	81,875	—	—	137,803	—	△ 55,928	—	—
-----------	---------	---	--------	---	---	---------	---	----------	---	---

(注) 1. 管理費とは、本社・支社の鉄道事業部門や、総務・経理などの一般管理部門の従業員に係る、人件費や物件費などのことです。
2. 営業係数とは、100円の営業収益を得るために必要な営業費用の指数をいいます。

令和元年度第1四半期 線区別の収支とご利用状況（対平成30年度第1四半期）

線名・区間			収支（百万円）									輸送密度 （人／日）		
			営業収益 （A）			営業費用 （B）			営業損益 （A）－（B）					
			H30年	R元年	増減	H30年	R元年	増減	H30年	R元年	増減			
1	札沼線	医療大学～新十津川	4	4	1	80	67	△12	△76	△63	13	63	64	1
2	根室線	富良野～新得	8	7	△1	167	163	△4	△159	△156	3	100	84	△16
3	留萌線	深川～留萌	9	9	△0	144	145	1	△135	△136	△1	151	146	△5
4	日高線	鶴川～様似	11	9	△1	177	178	1	△167	△169	△2	130	115	△15
1～4計			31	29	△2	568	553	△14	△537	△524	13			
5	宗谷線	名寄～稚内	97	93	△3	628	629	1	△532	△536	△4	327	312	△15
6	根室線	釧路～根室	39	40	1	291	309	18	△252	△269	△17	259	261	2
7	根室線	滝川～富良野	28	27	△2	252	260	8	△224	△234	△10	384	383	△1
8	室蘭線	沼ノ端～岩見沢	29	28	△1	351	284	△67	△322	△256	66	448	432	△16
9	釧網線	東釧路～網走	62	68	6	400	371	△29	△338	△303	34	327	342	15
10	日高線	苫小牧～鶴川	10	11	1	94	95	1	△84	△84	0	517	577	60
11	石北線	新旭川～上川	60	60	0	287	276	△10	△226	△216	10	1,019	1,014	△5
12	石北線	上川～網走	189	184	△5	1,005	975	△31	△816	△791	25	689	668	△21
13	富良野線	富良野～旭川	83	81	△2	292	310	18	△209	△229	△20	1,461	1,415	△46
5～13計			598	592	△5	3,600	3,509	△91	△3,002	△2,917	85			
1～13計			629	621	△7	4,168	4,063	△105	△3,539	△3,441	98			
14	石勝・根室線	南千歳～帯広	1,205	1,203	△2	2,003	2,129	126	△798	△926	△129	3,161	3,203	42
15	室蘭線	長万部～東室蘭	691	709	18	1,157	1,152	△5	△466	△443	23	4,702	4,817	115
16	室蘭線	室蘭～苫小牧	780	795	15	1,507	1,464	△43	△727	△668	58	6,643	6,705	62
17	函館線	岩見沢～旭川	1,208	1,215	7	1,902	1,893	△9	△694	△678	16	7,730	7,714	△16
18	札沼線	桑園～医療大学	9,971	10,209	238	10,036	10,291	255	△64	△82	△17	19,069	18,887	△182
	函館線	札幌～岩見沢										43,338	43,253	△85
	千歳・室蘭線	白石～苫小牧										45,589	47,161	1,572
	函館線	小樽～札幌										46,192	47,006	814
19	宗谷線	旭川～名寄	145	146	0	690	722	32	△545	△577	△32	1,348	1,351	3
20	根室線	帯広～釧路	369	366	△3	1,284	1,270	△14	△915	△904	11	1,427	1,444	17
21	新幹線	新青森～新函館北斗	2,344	2,503	158	4,297	4,479	181	△1,953	△1,976	△23	5,443	5,725	282
14～21計			16,714	17,146	431	22,876	23,400	524	△6,161	△6,254	△93			
22	函館線	長万部～小樽	90	93	3	513	476	△37	△423	△383	40	571	590	19
23	函館線	函館～長万部	1,067	1,086	20	2,569	2,616	47	△1,503	△1,530	△27	3,544	3,641	97
22～23計			1,156	1,179	23	3,082	3,092	10	△1,926	△1,913	13			
合計			18,502	18,946	444	30,158	30,555	396	△11,657	△11,608	48	5,036	5,163	127
24	石勝線	新夕張～夕張	3	—	△3	33	—	△33	△30	—	30	86	—	△86

- (注) 1. 輸送密度とは、旅客営業キロ1km当たりの1日平均旅客輸送人員をいいます（線区輸送人÷営業キロ÷日数）。
2. 合計の輸送密度には、バス代行を継続的に実施している区間のある日高線（鶴川～様似）と根室線（富良野～新得）の実績を含まずに算出しています。
3. 平成30年度の合計の収支・輸送密度には、平成31年4月に鉄道事業を廃止した石勝線（新夕張～夕張）の実績を含んで算出しています。

令和元年度第1四半期 線区別の収支とご利用状況

線 名・区 間	営 業 キ ロ (km)	輸 送 密 度 (人/日)	収 支 (百万円)						営業係数(円)	
			営 業 収 益 (A)	営業費用			営業損益		管理費 除 く (B)/(A)	管理費 含 む (D)/(A)
				鉄道計 (B)	管理費 (C)	営 業 費 用 (D)=(B)+(C)	管理費 除 く (A)-(B)	管理費 含 む (A)-(D)		
1 札沼線 医療大学～新十津川	47.6	64	4	58	10	67	△ 53	△ 63	1,389	1,628
2 根室線 富良野～新得	81.7	84	7	116	48	163	△ 109	△ 156	1,697	2,394
3 留萌線 深川～留萌	50.1	146	9	122	23	145	△ 113	△ 136	1,412	1,675
4 日高線 鶴川～様似	116.0	115	9	57	121	178	△ 48	△ 169	617	1,919
1～4 計	295.4		29	352	201	553	△ 324	△ 524	1,220	1,916
5 宗谷線 名寄～稚内	183.2	312	93	536	94	629	△ 442	△ 536	574	674
6 根室線 釧路～根室	135.4	261	40	261	48	309	△ 221	△ 269	649	768
7 根室線 滝川～富良野	54.6	383	27	222	38	260	△ 195	△ 234	835	980
8 室蘭線 沼ノ端～岩見沢	67.0	432	28	245	39	284	△ 216	△ 256	866	1,005
9 釧網線 東釧路～網走	166.2	342	68	313	58	371	△ 245	△ 303	460	546
10 日高線 苫小牧～鶴川	30.5	577	11	85	10	95	△ 74	△ 84	768	854
11 石北線 新旭川～上川	44.9	1,014	60	237	39	276	△ 177	△ 216	393	459
12 石北線 上川～網走	189.1	668	184	831	143	975	△ 647	△ 791	452	530
13 富良野線 富良野～旭川	54.8	1,415	81	261	49	310	△ 180	△ 229	323	384
5～13 計	925.7		592	2,991	519	3,509	△ 2,398	△ 2,917	505	592
1～13 計	1,221.1		621	3,343	720	4,063	△ 2,722	△ 3,441	538	654

14 石勝・根室線 南千歳～帯広	176.2	3,203	1,203	1,838	291	2,129	△ 635	△ 926	153	177	
15 室蘭線 長万部～東室蘭	77.2	4,817	709	1,005	147	1,152	△ 296	△ 443	142	163	
16 室蘭線 室蘭～苫小牧	65.0	6,705	795	1,270	194	1,464	△ 475	△ 668	160	184	
17 函館線 岩見沢～旭川	96.2	7,714	1,215	1,618	274	1,893	△ 403	△ 678	133	156	
18 札沼線 函館線 千歳・室蘭線 函館線	札沼線 桑園～医療大学	28.9	10,209	8,826	1,466	10,291	1,384	△ 82	86	101	
	函館線 札幌～岩見沢	40.6									43,253
	千歳・室蘭線 白石～苫小牧	68.0									47,161
	函館線 小樽～札幌	33.8									47,006
19 宗谷線 旭川～名寄	76.2	1,351	146	611	111	722	△ 466	△ 577	420	496	
20 根室線 帯広～釧路	128.3	1,444	366	1,086	184	1,270	△ 720	△ 904	297	347	
21 新幹線 新青森～新函館北斗	148.8	5,725	2,503	3,738	740	4,479	△ 1,236	△ 1,976	149	179	
14～21 計	939.2		17,146	19,993	3,407	23,400	△ 2,847	△ 6,254	117	136	

22 函館線 長万部～小樽	140.2	590	93	406	70	476	△ 313	△ 383	438	514
23 函館線 函館～長万部	147.6	3,641	1,086	2,256	360	2,616	△ 1,169	△ 1,530	208	241
22～23 計	287.8		1,179	2,662	430	3,092	△ 1,483	△ 1,913	226	262

合 計	2,448.1	5,163	18,946	25,998	4,557	30,555	△ 7,052	△11,608	137	161
-----	---------	-------	--------	--------	-------	--------	---------	---------	-----	-----

※ 合計には、出向社員給与などを含まないため、鉄道事業計とは一致しません。

鉄 道 事 業 計	2,448.1	—	19,795	—	—	31,694	—	△11,899	—	—
-----------	---------	---	--------	---	---	--------	---	---------	---	---

(注) 1. 管理費とは、本社・支社の鉄道事業部門や、総務・経理などの一般管理部門の従業員に係る、人件費や物件費などのことです。
2. 営業係数とは、100円の営業収益を得るために必要な営業費用の指数をいいます。